

いしのまき No. 72 議会だより

令和4年5月18日発行



令和4年度予算可決	1
各常任委員会審査報告	5
施政方針に対する質疑	7
19人が一般質問で市政を問う	10

令和4年度予算 可決

「持続可能な財政基盤の確立に向けた予算編成

前年度比 3・2%減

当初予算 総額1246億5千万円

一般会計 728・5億円

対前年度比 ▲2・7%

一般会計 20・5億円減

対前年度比 ▲3・2%

総会計 1246・5億円

対前年度比 ▲3・2%

本市の財政は、人口減少や少子高齢化の影響により、今後、市税や地方交付税の大幅な増加は見込めない一方、社会保障経費や復旧・復興事業で新たに整備した公共施設の維持管理費の増加が見込まれるなど、これらで以上に厳しい状況に直面しています。

これを踏まえ、令和4年度の予算編成に当たっては、「持続可能な財政基盤の確立」を図ることを基本方針とし、「復興予算から通常予算への転換」、「歳入に見合った予算編成」、「事務事業の検証と見直しの徹底」の3つの方針を掲げ、限られた財源を有効活用し、中長期的な視点から、身の丈にあった健全で持続可能な財政運営を目指した予算編成となりました。

歳入

市税は、対前年度比1・5%増の188・4億円、地方交付税は、12・4%減の189・6億円、国庫支出金は、8・6%減の93・4億円、県支出金は、4・3%増の46・5億円、繰入金金は、8・9%減の67・3億円、市債は、40・5%増の55・4億円です。

歳出

一般会計における義務的経費は、自立支援給付費や各種扶助費が増加したものの、職員定員適正化計画に基づく人件費の削減や災害公営住宅建設事業債の繰上償還を行ったことなどにより、対前年度比1・2%減の311・2億円、投資的経費は、七窪蛇田線街路整備事業や河北統合保育所施設整備事業により増加したものの、一般廃棄物最終処分場建設事業費の減により、対前年度比21・7%減の62・9億円です。

令和4年度一般会計予算

728億5千万円の使いみち

令和4年度各種会計予算のあらまし

会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	72,850,000	▲2.7
復旧復興分	2,147,603	▲30.1
通常分	70,702,397	▲1.6
特別会計	33,345,550	▲1.0
土地取得	0	皆減
水産物地方卸売市場事業	346,182	▲20.1
市街地開発事業	89,744	▲85.5
国民健康保険事業	15,809,928	0.5
後期高齢者医療	2,009,354	10.1
介護保険事業	15,090,342	0.8
公営企業会計	18,453,639	▲8.6
病院事業会計	6,016,503	▲2.1
下水道事業会計	12,437,136	▲11.5
合計	124,649,189	▲3.2

※土地取得特別会計は令和3年度末で廃止

令和4年度当初予算の主な事業

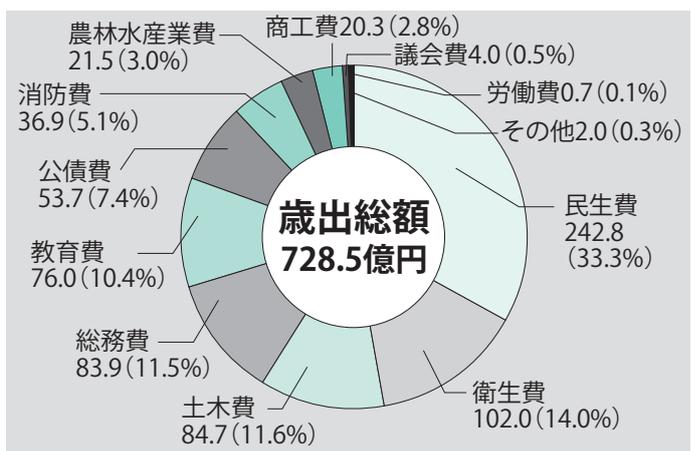
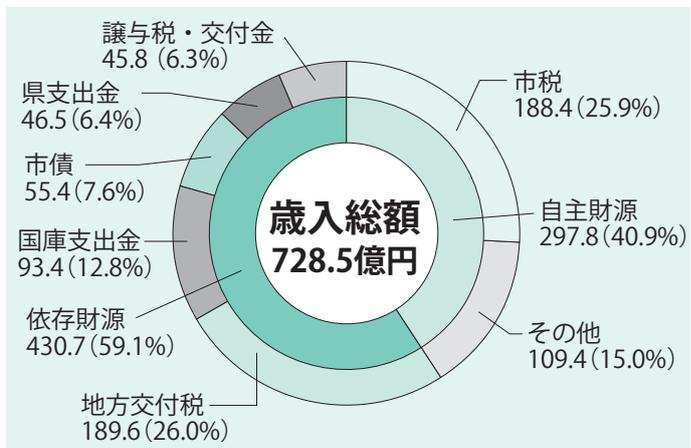
子ども医療対策費	5億 873万円
(仮称)河北統合保育所施設整備事業費	6億1742万円
被災者住宅再建補助事業費(東日本大震災関係分)	11億5483万円
新型コロナウイルスワクチン接種費	8億4909万円
一般廃棄物最終処分場建設事業費	16億4954万円
中小企業等融資関係費	8億4100万円
七窪蛇田線街路整備事業費	12億 280万円
コミュニティ広場整備事業費	4億2581万円
消防団費	3億4738万円
複合文化施設管理費	2億9100万円
学校給食センター運営費	5億9269万円



▲大森秀一 議長

＜一般会計予算の内訳＞

単位：億円



※()内は総額に対する割合を表します。

第1回例会

条例や予算など79件を可決

令和4年第1回定例会を、2月9日から3月16日までの36日間の日程で開催し、市長提出議案76件、議案案2件および委員会提出議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

第1回定例会に提出された議案と審議結果

予算 (原案可決)

- 令和4年度石巻市一般会計予算
- 令和4年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- 令和4年度石巻市市街地開発事業特別会計予算
- 令和4年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- 令和4年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- 令和4年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- 令和4年度石巻市病院事業会計予算
- 令和3年度石巻市一般会計補正予算(第10号)
- 令和3年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第1号)
- 令和3年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和3年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和3年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 令和3年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和3年度石巻市病院事業会計補正予算(第2号)
- 令和4年度石巻市一般会計補正予算(第1号)
- 令和4年度石巻市病院事業会計補正予算(第1号)
- 令和4年度石巻市一般会計補正予算(第2号)
- 令和4年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

条例 (原案可決)

- 石巻市総合計画推進会議条例
- 石巻市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

- 石巻市土地取得基金条例
- 石巻市博物館協議会条例
- 石巻市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例
- 石巻市被災市街地復興土地地区画整理事業清算基金条例を廃止する条例
- 石巻市震災復興土地地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例
- 石巻市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例
- 石巻市震災遺構門脇小学校条例の一部を改正する条例
- 石巻市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市特別会計条例の一部を改正する条例
- 石巻市行政財産の用途又は目的外使用に係る使用料に関する条例及び石巻市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- 石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市学校給食センター条例及び石巻市湊地区コミュニティ広場条例の一部を改正する条例
- 石巻市複合文化施設条例の一部を改正する条例
- 石巻市宮運動場条例の一部を改正する条例
- 石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- 石巻市雄勝地域拠点エリア条例の一部を改正する条例
- 石巻市牡鹿地域拠点エリア条例の一部を改正する条例
- 石巻市宮住宅条例の一部を改正する条例
- 石巻市消防団条例の一部を改正する条例
- 石巻市かわまち交流拠点条例の一部を改正する条例
- 石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

その他

(承認)

- 専決処分報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度石巻市一般会計補正予算(専決第3号))
- 専決処分報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度石巻市一般会計補正予算(専決第4号))

(原案可決)

- 財産の無償譲渡について 2件
- 財産の無償貸付けについて
- 工事委託に関する協定の締結について(石巻市公共下水道雨水排水ポンプ場施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定(その1))
- 工事委託に関する年度協定の締結について(仙石線陸前山下・石巻間外1線七窪蛇田線七窪橋新設工事の施行に関する令和4年度協定)
- 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について 2件
- 工事請負契約の一部変更について 12件
- 字の区域を変更することについて
- 市道路線の認定・廃止・変更について
- 工事請負の契約締結について 2件

人事

(異議がない)

人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

↓阿部慶吾氏、鈴木みどり氏、村上伸介氏、阿部清隆氏、佐々木美智子氏

(同意)

副市長を選任するにつき同意を求めることについて

↓渡邊伸彦氏、工藤均氏
教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
↓大和千恵氏

議案

(原案可決)

- ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に強く抗議する決議
- 6番黒須光男議員に対する議員辞職勧告決議の提出について

委員会提出議案

(原案可決)

- 石巻市議会委員会条例の一部を改正する条例

第1回定例会で決まった中から主な内容を紹介します。

可決した条例から

◆石巻市総合計画推進会議条例

第2次石巻市総合計画を計画的に推進するため、外部委員により構成する「石巻市総合計画推進会議」を設置することから、本条例を制定するものです。

◆石巻市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

本市の豊かな自然環境及び安全安心な生活環境の保全と再生可能エネルギー発電設備を設置する事業との調和を図るために必要な事項を定め、自然環境及び生活環境に配慮した豊かな地域社会の発展に寄与するため、本条例を制定するものです。

◆石巻市震災遺構門脇小学校条例の一部を改正する条例

石巻市複合文化施設条例の一部を改正する条例

石巻市雄勝地域拠点エリア条例の一部を改正する条例

石巻市牡鹿地域拠点エリア条例の一部を改正する条例

「石巻市震災遺構門脇小学校」、「石巻市博物館」、「雄勝硯伝統産業会館」および「おしかホエールランド」の入館料（観覧料）は、個人および団体の料金設定のみとなっていることから、年間パスポートを導入し、更なる集客により、震災からの学びや教訓、本市の文化や歴史に触れる機会の拡大を図るため、各条例の一部を改正するものです。

なお、各施設の年間パスポート料金については、通常料金の2.5回分を目途に設定しています。

可決した令和3年度補正予算から

今回の補正予算は、国の1次補正予算に基づき内示のあった社会資本整備総合交付金事業や防災・安全交付金事業のほか、災害公営住宅家賃低廉化事業及び保育士や幼稚園教諭等の処遇改善に要する経費などの所要額を措置したものです。

また、各種事業の執行見込みに基づく事業費の整理のほか、各種特別会計への繰出金や国県補助金等の確定に伴う予算整理を併せて行ったものです。

◆総務費では

- ・がんばる石巻応援寄附増加に伴う謝礼品等関連経費
- ・マイナンバーカード所有者の転出・転入手続きのワンストップ化に係る住民基本台帳システム改修に要する経費

◆民生費では

- ・私立認可保育所、地域型保育事業、保育所、放課後児童クラブにおける処遇改善臨時特例事業に要する経費

◆衛生費では

- ・新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の前倒しに係る不足分及び5歳から11歳の子どもへの接種に要する経費

◆土木費では

- ・山崎馬鞍線道路改良事業（中島工区）における社会資本整備総合交付金の補助内示に伴う事業費
- ・単独線道路改良事業における防災安全交付金の補助内示に伴う事業費

◆教育費では

- ・私立幼稚園における処遇改善臨時特例事業に要する経費



▲遠藤宏昭 副議長

各常任委員会審査報告

2月22日から25日の本会議で、条例や予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画委員会



奥山浩幸 委員長

石巻市総合計画推進会議条例

Q 委員の人数および任期の設定理由について伺う。

A 「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」の委員は20人であったが、「石巻市総合計画推進会議」の委員は25人とし、本市の最上位計画である石巻市総合計画の評価・検証を行うに当たり、学識経験者や産業、福祉、教育、子育てなどの各分野のほか、地域の方々などから多様な人選を行うものである。

また、総合計画基本計画の前期計画が5年間であるため、委員の任期も同じく5年間とした。

石巻市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

Q スポーツ部門を教育委員会から市長部局に移管することによる利点について伺う。

A 教育委員会の判断を受けることなく、市長部局が迅速に政策決定を行えることとなり、スポーツを生かしたまちづくりによる市外の方々の交流や、観光・物産の振興など、幅広い分野で連携が期待できることが利点である。

石巻市消防団条例の一部を改正する条例

Q 火災、自然災害などの2時間未満の出勤報酬について伺う。

A 地震や風水害における2時間未満の出勤の取り扱いについては、2千円の報酬を支給するため、無報酬となることはない。

令和4年度石巻市一般会計予算

Q 現在、本市が被告となっている6件の裁判のうち、本市議会議員が原告となっている裁判の内容について伺う。

A 基盤整備課が担当する「湊東復興公営住宅に係る不当利得返還請求事件」、議会事務局が担当する「令和2年第1回定例会における8日間の出席停止の懲罰に係る損害賠償請求事件」および「令和2年第3回定例会における2日間の出席停止の懲罰に係る損害賠償等請求事件」の3件である。

Q 市議会議員選挙における開票作業が遅れないための対策について伺う。

A 市議会議員選挙は単独の選挙となることから、基本どおりの手順を追った開票作業に努めていく。

Q 市ホームページによる開票速報の準備体制について伺う。

A サーバーの機能停止により、市ホームページが閲覧できなくなるような場合に、サーバーにかかる負荷を調査するなど、担当課と協議を進めている。

環境教育委員会



阿部久一 委員長

石巻市複合文化施設条例の一部を改正する条例

Q パスポート券の規格や仕様について伺う。

A 多くの方に購入していただけるように、年間パスポートのデザインを工夫し、使い回し防止の対策などを検討していく。

Q 企画展や特別展における年間パスポートの利用について伺う。

A 企画展・特別展は年に数回の開催を予定しているが、これらは展示に要する経費を基に、観覧料を定めるため、年間パスポートの対象とはしていない。年間パスポートの対象は常設展で、こちらも随時展示替えを行っていく予定である。

Q 指定管理者が収益を上げるための方策について伺う。

A 令和3年度の成果を検証して、施設の有効活用を図り、経費の削減や収入の増加につなげるために、指定管理者が主体性を持って取り組むことができるよう協議していきたい。

令和4年度石巻市一般会計予算

Q 教育委員会委員報酬の内訳および委員の選定について伺う。

A 報酬の内訳は委員4名で、1名当たり年額95万8800円である。現在の教育委員は、校長経験者、保護者、地域で教育に携わっている方であり、人格が高潔な方を選定し、議会で同意を受けている。

Q 学力調査業務委託料の内容について伺う。

A 標準学力調査を実施して採点・集計し、データの整理・分析などを行う業務であり、その結果得られたデータは学校で活用している。

Q 学力向上プランの概要および目標について伺う。

A 学力向上プランは令和3年度中の策定を予定しており、その概要は、小・中学校の学力の課題と現状を明らかにし、小・中連携による9年間を見通した、学習習慣などを確立するための取り組みであり、全国学力学習状況調査の平均正答率を、3年間で宮城県の平均以上とすることを目標とし、さらには、全国の平均以上を目指して進めていきたい。

保健福祉委員会



佐藤雄一 委員長

令和4年度石巻市一般会計予算

Q 災害援護資金債権回収等業務委託料の内容について伺う。

A 市の窓口で実施している災害援護資金債権回収に関する催告などの業務、並びに、令和3年6月から開始した、督促状などに無反応である方に対する、現地調査などの業務である。

Q 現在の債権回収状況について伺う。

A 全体では約64億2400万円の貸し付けをしているが、約定償還や繰上償還、死亡免除などの金額を差し引くと、約32億6200万円の債権が残っている状況である。

Q 今後の債権回収の見込みについて伺う。

A 令和3年度から、督促状などへの無反応者の現地調査を「サービサー」という業者に委託しており、12月末現在で239件の調査を実施し、約238万円の返還があった。また、無反応だった方から、相談につながったケースが71件あったことから、来年度も事業を継続していきたい。

令和4年度石巻市病院事業会計予算

Q 令和3年度との診療収益の比較について伺う。

A 1月までの10カ月間で、入院で約6千万円、外来では約5600万円、合計で約1億1600万円の増加となっている。

Q 増加の要因について伺う。

A 全体的に外来患者数が増加しており、特に新しく増設した眼科における手術などの影響もあるため、収入の増加につながっている。

Q 新型コロナウイルス関連の予算額について伺う。

A 収入では、県補助金で約1億3千万円を見込んでおり、支出では、人件費、試薬などの材料費、

委託料、関連機器の購入費など、合計で約7200万円を見込んでいる。

令和3年度石巻市病院事業会計補正予算(第2号)

Q 病院事業会計における債務超過と欠損金について伺う。

A 令和2年度決算では、債務超過が約21億円、欠損金が約57億円となっており、このような債務超過や欠損金は早急に解消すべきという専門家などの意見もあったことから、減資などの手続きを経て、旧石巻市立病院の資本金と欠損金を相殺することによって、欠損金を解消しようとするものである。

産業建設委員会



阿部浩章 委員長

令和4年度石巻市一般会計予算

Q ニホンジカの駆除実績および駆除予定数について伺う。

A 令和2年度の駆除実績は2576頭であり、令和4年度は2393頭の駆除を予定している。

Q 農家以外の家庭菜園などに対するニホンジカ被害の支援制

度について伺う。

A 現時点では支援制度を設けていないが、ニホンジカの駆除業務の推進により、農作物被害の削減につなげていきたい。

Q 森林環境整備事業の内容および完了時期について伺う。

A 森林管理に関する意向調査を実施して、間伐などの整備につながる事業であり、優先順位をつけて毎年度計画的に進めており、令和4年度以降も継続的に実施していく。

Q 漁船誘致の方策について伺う。

A 魚を他市場より高値で取引することが重要であり、そのためには、電子入札などによる業務の迅速化や効率化のほか、水産ブランドのさらなる確立を図るなど、水産業界が一体となって、石巻に寄港するインセンティブを研究していきたい。

Q 危険ブロック塀の除去の状況について伺う。

A 平成30年度および令和元年度の調査において、要注意および緊急改善の件数が1万4996件あったが、令和3年度までに補助金申請があった386件を改善している。

また、スクールゾーン内の危険ブロック塀については、補助金申請によらず、自主的に撤去したものが22件あった。

～会派代表質疑～

施政方針をたたく

第1回定例会の初日、齋藤市長による施政方針演説があり、各会派の代表者がこの施政方針に対する質疑を行いました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

施政方針要旨

重点施策

- 1 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり
- 2 安全・安心なまちづくり
- 3 人口減少対策と地域コミュニティの強化
- 4 産業の発展と雇用創出
- 5 物流拠点の形成と新たな観光の構築
- 6 広域連携体制の強化



齋藤正美 市長

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。
(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

施政方針に対する質疑通告一覧

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、答弁を含めず、1人40分以内の質疑時間となりました。

会派名	代表者名	質疑事項
ニユー石巻	阿部 欽一郎	<ol style="list-style-type: none"> 1 施策の大綱について <ol style="list-style-type: none"> 1) 新型コロナウイルス感染症対策、全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 2) SDGsの推進、復興事業について 2 重点施策について <ol style="list-style-type: none"> 1) 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 2) 安全・安心なまちづくりについて 3) 人口減少対策と地域コミュニティの強化について 4) 産業の発展と雇用創出について 5) 物流拠点の形成と新たな観光の構築について 6) 広域連携体制の強化について 3 予算編成と組織機構の見直しについて
創生会	千葉 眞良	<ol style="list-style-type: none"> 1 市長の政治姿勢について 2 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 3 安全・安心なまちづくりについて 4 人口減少対策と地域コミュニティの強化について 5 産業の発展と雇用創出について 6 物流拠点の形成と新たな観光の構築 7 広域連携体制の強化について
公明会	渡辺 拓朗	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策 2 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり 3 安全・安心なまちづくり 4 人口減少対策と地域コミュニティの強化 5 産業の発展と雇用創出 6 物流拠点の形成と新たな観光の構築 7 広域連携体制の強化 8 予算編成
日本共産党 石巻市議団	水澤 富士江	<ol style="list-style-type: none"> 1 全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて 2 安全・安心なまちづくりについて 3 人口減少対策と地域コミュニティの強化について 4 産業の発展と雇用創出について 5 物流拠点の形成と新たな観光の構築について 6 広域連携体制の強化について



ニユー石巻(会長)
阿部 欽一郎 議員



問 コロナ禍対策の支援策について伺う。

答 県は県民に対し、不用の外出自粛や会食での人数制限など、独自の「緊急特別要請」を发出。国のGOTOイートキャンペーンや、県のみやぎ認証店おうえん食事券について、テイクアウトやデリバリー以外の利用自粛を要請している状況にある。飲食業に対する割引クーポン券や、他の支援策については、コロナ禍の状況や経済情勢を捉え、地方創生臨時交付金など財源を考慮しながら、必要に応じ対応する。

問 離島におけるリボンアート・フェスティバルの継続開催は、田代島は猫の島・網地島はアートの島として、観光コンテンツになり得るのではないか。

答 離島は本市の重要な観光資源であり、リボンアート・フェスティバル会場となることで、離島振興にも大きく寄与するものと認識しており、継続開催ができるよう準備を進めたい。

問 地域防災計画の見直しの具体的な内容について伺う。

答 近年全国各地で多発している大雨等による豪雨災害や、今後、公表予定の県の津波浸水想定の内容を踏まえた計画の見直しを行うとともに、災害対策基本法改正による避難指示の一本化や、国・県の計画との整合を図るなど、必要な改定を行っていく。

問 放課後児童クラブや健全育成のための環境や方策について伺う。

答 平成27年中の本市の出生数は1039名、令和3年中では716名と減少傾向にある。子供たちは将来を担う貴重な「地域の宝」であり、子供達の成長過程における環境を整え、保護者のニーズに応え、より子育てしやすい環境整備を推進していく。

問 予算編成上の「身の丈に合った」とは、相対的にどう捉えているのか伺う。

答 将来を見据えた「持続可能な財政基盤」を確立するには、震災前の水準に戻すこと、財政調整基金の過度な取り崩しに頼ることのない「歳入に見合った予算編成」こそ必要である。

市長の政治姿勢について



創生会(会長)
千葉 眞 良 議員



問 市長就任10カ月経過の到達点について、市長は市民の声を聞き、オール市民での取り組み、広聴事業の充実を図ると所信表明で述べたが、10カ月を振り返り、どのような思いでいるのか評価を伺う。

答 市長に就任してからこれまで、市民の声を伺い、市民参加・参画による、協働のまちづくりを進めていくため、東日本大震災の発生以降、事業を休止していた「移動市長室」を「動く市長室」として再開し、雄勝地区、桃生地区、北上地区、牡鹿地区の4地区で開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大により、河北地区および河南地区での開催は中止となったが、今後も、こちらから積極的に出向き、市民の声を伺いたいと考えている。また、経済界などの各種団体とも意見交換会や、まちづくり懇談会を実施している。

市民から、石巻をより良いまちにしたいという熱い思いが伝わっており、その思いにしっかりと応えていきたいという使命感を改めて強く持った。今後も市民の声に耳を傾け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応し、オール市民で協働のまちづくりを進める。

問 今後の石巻の針路について、どのような点に注意しながら市民の協力を得ていくのか伺う。

答 急速に進む少子高齢化や、若い世代を中心とした市外への流出による人口減少に加えて、長期化する「新型コロナウイルス感染症」の影響や頻発する自然災害への対応など、多くの諸課題を抱え、非常に厳しい行財政運営を強いられている。こうした諸課題に対応していくためには、市民、議会、行政が一体となった「オール市民」でのまちづくりが必要であり、引き続き市民の声にしっかりと耳を傾けながら、市政運営に取り組む。

問 コロナの中、多岐にわたる事業を進めているが、今後、コロナ後を見据えた、そして、市民の迷わない市政運営をお願いする。



公明会(会長)

渡辺 拓朗 議員



全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり

問 オミクロン株の感染拡大防止に抗原検査キットの無料配布を検討すべき。

答 医療機関や福祉施設など、優先度の高い所に供給されており、無料配布することは難しい。

問 市民意識調査ではスポーツや運動に取り組みない理由として、時間がないとの結果が出ました。働き方改革から取り組むべきでは。

答 ライフステージに合ったスポーツ機会の創出、スポーツによる夢や希望が持てる環境整備に努める。

安全・安心なまちづくり

問 女川原発が放射能事故を起こした場合、気象条件によっては海路や空輸による避難が想定されるが、どのような協議を行っているのか。

答 女川地域原子力防災協議会において、防衛省、海上保安庁、警察庁などによる全国規模の避難支援を行うとの確認項目の中で、気象条件における避難シミュレーションも行っている。

問 グループホーム入所費用の助成と地域包括ケアの充実に向け、地域見守り力の強化策を伺う。

答 グループホーム入所費用の助成は、国に財政措置を要望する。見守り力については、民生委員・児童委員・各種サロン団体・ボランティアと地域住民の連携強化を図り、協力的体制を構築する。

問 宮城県県の調査によると、県内157名のヤングケアラーがいる結果が出ました。本市の認識と対応を伺う。

答 本市でも確認され、ヤングケアラーをテーマにした研修会を開催し、関係機関と共通認識を図り適切な支援に努める。

産業の発展と雇用創出

問 コロナ禍後は働き手不足が顕著になる。高齢者雇用の充実のため、企業へ就業時間の細分化への協力など、どのようにしていくのか。

答 働き手と雇用人のそれぞれのニーズ調査を行い、ニーズに沿うマッチング手法を用い高齢者雇用を推進する。

予算編成

問 各種計画業務委託料が大きな支出になっているが、平成23年自治法改正で策定義務が廃止された。大幅な削減が可能と判断するがいかがか。

答 計画策定のノウハウを職員が学び、この委託料を削減していくことは可能であり、一層の削減に努める。



日本共産党石巻市議団(団長)

水澤 富士江 議員



全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくりについて

問 生活環境を壊すと危惧されている須江輸入燃料火力発電所の事業者は、地元の反対の声に耳を傾けず、遮二無二事業を進め、住民に大きな不安を与えているが、見解を伺う。

答 本事業における地域住民の懸念は十分承知しており、実施にあたっては、地域住民の理解が不可欠であり、県への意見書でも述べている。

問 ジェンダー視点をあらゆる施策に生かすべき。市役所会計年度任用職員(非正規)の男女の割合、正規職員との年収格差について伺う。

答 会計年度任用職員は、1042人を任用。男性158人、女性884人で、女性の割合は84.8%。年収は、一般行政職新規採用者の約220万円に対し、会計年度任用職員は170万円。

安全・安心なまちづくりについて

問 原子力災害時の避難計画、避難訓練のあり方について伺う。また、実際に事故が起きた際、避難できたとしても、福島第一原発事故のように、ふるさとに戻れない事例もあり、裁判が行われているが、見解を伺う。

答 東北電力によると、事故が発生しても長期的な避難に至るような土壌汚染は発生しないとのことだが、更なる安全性の確保を求めていく。

問 女川原発は地震多発地域にある。立地自治体として、事業者の回答をそのまま鵜呑みにした結果が福島事故だ。肝に銘じるべき。

問 復興住宅家賃が上がることに大きな不安がある。入居者の状況について、他の先進事例を参考に減免制度の延長を求めるが見解を伺う。

答 石巻市営住宅家賃減免要綱と比較し、入居者にとって有益な方法を検討する。

人口減少対策と地域コミュニティの強化について

問 バリアフリーで、どの世代からも利用され、愛される市図書館の新設を。

答 現在の図書館は建設から48年が経過し、狭隘化が顕著になっている。今後の在り方について市民の意向等も踏まえ検討していく。

産業の発展と雇用創出について

問 いしのまき水辺の緑のpromenadeと日和山をつなぐルートの改善と日和山公園のさらなる充実化を。

答 石巻を代表する観光地として、改善、充実を図る。

一般質問

議員19人が登壇 市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、19人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧

※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため答弁を含め、1人50分の質問時間となっています。

<p>①齋藤 澄子 (日本共産党石巻市議団)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ禍における学校健診後治療について 2 出生後の市からのお祝いについて 3 わたのはクリニックの再開について 4 女川原発事故を想定しての避難訓練の状況について 5 災害対策について 	<p>⑪奥山 浩幸 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石巻市営住宅等の用途廃止に伴う入居者移転計画について 2 石巻市立小・中学校学区再編計画について 3 組織改編について
<p>②阿部 浩章 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 『将来にわたり生きる喜びを持続するまちづくり』パート2 	<p>⑫阿部 正敏 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石巻鮎川線路線バスの運行状況について 2 住民バスの運行状況について 3 デマンドタクシーの活用について
<p>③千葉 正幸 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旧桃生町所有の橋本コレクションについて 2 有害鳥獣の駆除及び処理について 3 新市まちづくり計画と桃生の諸課題について 	<p>⑬黒須 光男 (無会派)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 復興事業における湊東地区復興住宅建設及び市街地再開発ビル建設の問題点について 2 公職選挙法の厳守について 3 今後の市政について
<p>④鈴木 良広 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 更なる防災体制の確立について 2 自転車保険の加入促進について 	<p>⑭青山 久栄 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防団の団員確保策と地域防災力の向上について 2 高齢者の介護予防と身体状況の改善に向けた取り組みについて
<p>⑤星 雅俊 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前議会までの答弁の進捗状況について 2 本市の活性化と人口減少対策としての交通政策について 3 厳しい財政状況下での「施策の選択と集中」について 	<p>⑮高橋 憲悦 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 少子化・高齢化社会への対応と行財政運営の見直しについて 2 自治体の地域間競争の中、本市が輝き続けるための考え方や方策について
<p>⑥櫻田 誠子 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナ感染症について 2 子育て支援について 3 防災について 	<p>⑯阿部 久一 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第2次石巻市総合計画実施計画について 2 動く市長室について
<p>⑦佐藤 雄一 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の生活について 2 若者の生活について 3 空き家・空き地対策について 	<p>⑰西條 正昭 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 石巻圏域定住自立圏構想の実現について 2 新型コロナウイルス濃厚接触者世帯の支援策について 3 犯罪被害者等支援について 4 北上地区の復興事業完遂について
<p>⑧楯石 光弘 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たな時代の農林畜産産業振興対策について 2 国指定「齋藤氏庭園」について 	<p>⑱後藤 兼位 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
<p>⑨高橋 栄一 (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業の振興と経済の活性化について 	<p>⑲森山 行輝 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 私たちの市が輝き魅力ある“まち”であり続ける為に
<p>⑩青木 まりえ (創生会)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 放課後学び教室について 2 放課後子ども教室について 3 放課後児童クラブについて 	



齋藤 澄子 議員

日本共産党
石巻市議団



問 コロナ禍において学校健診後、治療の受診控えが増え、児童生徒の健康状況が心配。健全に発達できる取り組みの考えは。

答 医療機関での受診に不安を感じる場合でも、医療機関に相談するなど、不安解消につながるよう提示し、受診を促していく。

問 出産後の市からの祝い品は、新生児が必要な物を選ぶようギフトカードなど、工夫が必要では。

答 他自治体が実施している出産祝い品を参考に、研究していく。

問 わたのはクリニックの再開について、市が助成金を出して開業したクリニックの今後は。

答 医師不足により診療業務を休止しており、再開の見通しが立たない状況。助成金については、約5年間の診療をしているので、交付金額の半分を返還していただくことが妥当。

問 2月の女川原発事故を想定した避難訓練は、コロナ禍の影響で住民不参加の訓練となった。わずかな参加人数でも渋滞が起きた。再稼働に問題は無いのか。

答 避難退域時検査場所の混雑など、今後見直すべき課題を確認できた事は、大きな教訓となった。訓練結果を検証し、国や県との協議を重ね、避難の円滑化に努める。

問 津波注意報が発令され、高齢者避難、寒さなどを考えれば、車での避難は避けられない。かわみなと大橋が避難道の位置付けであれば、牧山へ駐車スペースを用意すべきでは。

答 徒歩避難、垂直避難に徹してほしい。



阿部 浩章 議員

ニュー石巻



「将来にわたり生きる喜びを継続するまちづくり」パート2について

問 民生委員不在地区の民生委員協力員の配置および社会福祉協議会の福祉協力員のすみ分けについて伺う。

答 現在、隣接地区の民生委員が不在地区をカバーしており、不在地区に協力員を配置することで負担軽減できると考えている。福祉協力員とは、重複するものもあり、それぞれの立場で連携していただきたい。

問 産科医の現状・課題・対策について伺う。

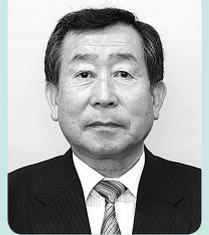
答 出産できる施設が限られているため、地域の産科婦人科医療機関で妊婦健康診査を受け、分娩は石巻赤十字病院で取り扱う「産科セミナーシステム」を導入している。1施設の廃院においても、石巻赤十字病院での分娩は可能と伺っており、今後も石巻赤十字病院を中心に各医療機関と連携を密にし、妊婦の不安解消に努める。

問 保育士処遇改善の補助金は、直接保育士に支給されているのか伺う。

答 本事業の補助金は、各保育施設に交付し、賃金改善分を給与にて職員に支払われるものであり、実績報告において賃金規定や賃金台帳等の提出を求め、職員個々の支給状況を確認していく。

問 放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携について伺う。

答 学校支援地域コーディネーターとも連携して、地域に根差した継続的な活動を行っている団体の掘り起こしに取り組む。



千葉 正幸 議員

ニュー石巻



旧桃生町所有の橋本コレクションについて

問 石巻市にも博物館ができた。石器類、貝貨、古銭、藩札等2万4793点に及ぶ橋本コレクションの保管と今後の活用について伺う。

答 農業者トレーニングセンター倉庫に保管している。調査研究に時間がかかるが、適切な保管管理を行い広く紹介する。

ニホンジカの駆除及び処理について

問 「百聞は一見に如かず」北海道枝幸町の減容化処理（シカ死骸を自然の微生物で分解）施設の視察と、市長が圏域県会議員との懇談会で求めた、広域的な捕獲と処理施設の整備について、その可能性は。

答 関係機関との連携で実現するよう進めて行く。

新市まちづくり計画と桃生の諸課題について

問 合併から17年、合併協議で確認した桃生地区の事業は全く進まない。

問 桃生子ども園の開園は。

答 令和7年度の開園を目標に事業の推進に努める。

問 市民球場や河南球場は数回にわたり改修が行われ、電光掲示板も更新された。桃生球場の電光掲示板はいつになるのか。

答 桃生球場は維持継続する施設と位置付けており、他の施設と調整しながら改修も含め、最良の方法を検討している。

問 20数年前に用地を確保し、合併に託した河北境1号線の整備はいつになるのか。

答 他の市道整備との調整を図りながら、早期完了を目指して着実に取り組む。



鈴木 良広 議員

公明会



更なる防災体制の確立について

災害時の車両による避難について

問 突然の地震・津波警報等により避難指示が出た場合、一刻も早く安全な場所への避難が求められる。渋滞による逃げ遅れを防ぐため、原則徒歩避難としているが、家族状況や時間帯により、車両による避難を選択する方が多いのも事実。徒歩避難を基本としつつ、渋滞の緩和策も検討すべきと考えるが所見を伺う。

答 車による避難は渋滞を招き、津波に巻き込まれることが懸念される。災害時の命を守る行動について、日頃から家庭での話し合いや地域内での協力も必要なことから、震災の教訓と合わせて市民へ周知を行う。

自転車保険の加入促進について

問 自転車は子供から高齢者まで手軽な乗り物として利用されているが、利用者の増加と共に事故も増えており、高額賠償を求められるケースもある。自転車保険の加入義務化を条例制定している自治体も増えているが、どのように認識しているか伺う。

答 ご指摘のとおり、全国では自転車事故による高額賠償事案が発生しており、地方自治体においても保険加入を義務づける自治体が増えてきている。宮城県でも条例により、自転車損害賠償保険等への加入を義務としていることから、本市としても、引き続き、加入促進に向けて積極的に周知を図る。



星 雅俊 議員

創生会



前議会までの答弁進捗状況について

問 北罇山墓地移転跡地の活用状況について伺う。

答 面積約2ヘクタールの地形を活かした活用を周辺市民の皆様の意見を伺い進める。

問 老朽化の市立図書館の改築について伺う。

答 社会教育・体育施設適正配置計画で2031年から2040年までの間で改築または、建て替えの予定。書庫の狭隘化も課題であり、市民意向を踏まえ総合的に判断する。

本市の活性化と人口減少対策としての交通政策について

問 当市の活性化や人口減少対策には、「仙石線のスピードアップ」が不可欠と思うが現状と課題を伺う。

答 交流人口の増加策として、スピードアップは必要だが、高速車両の導入や一部複線化に多大な投資が伴うことがネックである。今後もJRに要望する。

問 バス停留所まで行けない高齢者にとつて地域に安心して住み続けられる交通手段は、玄関から目的地までの予約型（デマンド）交通の推進が必要ではないのか。

答 多大な事業費を要するが、前例の河南地区を参考とし検討していく。

政策主導型の予算編成について

問 市民満足度を向上させる効果的な予算執行は、政策評価と予算編成の連動性が必須であり、政策主導型の予算編成が求められると思うが見解を伺う。

答 限られた財源の中、「施策の選択と集中」を意識した予算編成は必須であり、研究していく。



櫻田 誠子 議員

公明会



コロナ感染症について

問 追加の接種状況と感染対策は。

答 3回目接種の有効性を周知し、会場も増やす。保健師の電話相談は可能。感染対策費は状況から判断する。

子育て支援について

問 産後ケアの実施状況と課題は。

答 産後ケア実施から1年を迎え、さらに周知する。育児ヘルパー事業の多子世帯利用は、10回分を上乗せし30回。低出生体重児に対する母子手帳リトルベビーハンドブックの交付は県と連携する。令和4年度の3歳児健診は、目の屈折検査を行い、新生児聴覚検査も実施したい。

問 屋内で遊べる施設要望もあるが、障がい児も低年齢児も使える公園が必要だ。

答 インクルーシブ公園について検討する。

問 コロナ禍で、特にひとり親世帯は経済的に厳しい。子どもを塾に行かせたいが難しい。教育クーポン配布や就学援助制度を周知徹底すべき。

答 NPO法人ティックが窓口となり、チャンス・フォー・チルドレンが教育クーポンの配布を実施している。まずは、学習習慣を身に付けられるよう県内初の学習ドリルを全員に配布し、活用する。

防災について

問 南浜津波復興記念公園内の案内が少なく、防災ラジオからの情報提供をもっとすべき、津波浸水域界地点掲示は分かりにくいとの指摘がある。

答 公園内の案内は検討する。ラジオの活用も努力する。防災サインは改めて作り直し、議員提案のQRコードも検討する。



佐藤 雄一 議員

ニュー石巻



高齢者の生活について

問 老人クラブの活動状況について伺う。

答 コロナ禍において、活動を自粛・縮小している団体もあることから、社会福祉協議会と共に引き続き支援する。

問 敬老会の在り方について伺う。

答 震災以降、例年8%前後の出席率。この2年はコロナ禍のため開催中止。本年度も記念品のみ贈る予定。今後について、さらに検討する。

問 運転免許証を自主返納された方の対応など伺う。

答 地域ニーズに則したデマンド運行への切り替えや、運賃割引制度の導入などについて検討する。

若者の生活について

問 石巻市結婚等支援事業について伺う。

答 39歳以下で世帯所得が400万円未満の新婚夫婦に対し、最大で60万円の補助金を交付する。県が開設した「みやぎ結婚支援センター・みやマリ」のAIを活用したマッチングシステムに登録を希望する方に対し、登録料1万1千円の半額を補助する。イベントを行う団体に対し、婚活事業30万円、婚活事業15万円を上限に補助金を交付する。

問 「キスナファンタジア」について、運用状況を伺う。

答 本アプリは、昨年3月に配信を開始し、本年1月末時点で約2万1千回ダウンロードされている。

空き家、空き地対策について

問 空き家バンクの登録状況を伺う。

答 空き家の所有者7件、不動産登録事業者21件、利用希望者は県内3名、県外2名。



楯石 光弘 議員

ニュー石巻



新たな時代の農林畜産産業振興対策について

問 農水省が日本農業の今後30年を見据えた「みどりの食料システム戦略」の具体例は。

答 省エネ設備でCO2ゼロ。堆肥・緑肥活用。有機農業の面積割合を全国0.5%から25%の100万ヘクタールへ拡大。

問 昨年の米の仮渡価格で、ご飯茶碗一杯の値段を計算してみたら10円。今こそ食育・地産地消・米消費拡大運動が必要と考えるが。

答 関係機関、団体の連携をより強化し、イベント等で積極的にPRしたい。

問 本市の農業と森林の多面的機能を貨幣価値で評価試算してみると、本市の一般会計予算をはるかに超える年に1037億4千万円。本市の里山の環境保全と林道の整備について伺う。

答 新たな森林環境譲与税を活用して、荒廃森林の再生や間伐等で環境改善に努め、基盤である林道の修繕も継続的に行っていく。

国指定「齋藤氏庭園」について

問 今のお金で100億円以上を寄付したと言われる、齋善翁の功績と庭園の歴史的文化的価値について伺う。

答 東北三大地主でありながら質素勤儉を旨とし、「財産は神からの預かりもの。」との信念から宮城県図書館や前谷地小学校新設費用を寄付。財団法人齋藤報恩会を設立し、学術研究・産業開発・社会改善と多大な功績を遺した。庭園は背後の丘陵地を一体の空間として構成されており、近代の庭園でも歴史的文化的価値が高い。



高橋 栄一 議員

創生会



産業の振興と経済の活性化について

問 コロナ禍における企業誘致活動について伺う。

答 コロナ禍においても、企業誘致のみならず、企業立地を推進することは、非常に重要であると認識していることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を勘案しながら、企業誘致活動を実施してきた。令和3年度は、企業立地意向調査で、設備投資の計画があるとの回答のあった県内外の企業を中心に企業訪問を行ったほか、市内企業の設備投資を促していく必要があることから、経営状況の確認と併せ、改正した企業立地等促進条例に基づく各種支援制度等のPRを行うための企業訪問も実施した。

また、新たな設備投資や、進出の検討に当たり、複数社から各種懇談もあり、企業立地の実現に向けて、引き続き支援に努める。

問 農業の振興について、昨年の農協による米の買入価格は大幅に下落し、規模拡大を進めてきた稲作農家は大きなショックを受けているが、今後の支援策について伺う。

答 米作から他作物への転換を一層進める必要があることから、麦・大豆を初め飼料米や飼料用青刈稲、さらには、新規作物の導入など農協や、関係機関と一層連携を強めながら取り組んでいきたい。



青木まりえ 議員

創生会



放課後学び教室

現状と今後は。

答 小14校、中10校で、令和4年度も実施。令和5年度以降コミュニティ・スクールで地域人材での実施を検討。

問 コミュニティ・スクールについて伺う。

答 11校で実施。令和6年度市立小中高全て実施。

問 令和4年度に全ての児童生徒に導入のタブレットの活用は。

答 学び教室、家庭学習、不登校児童生徒にも活用。

放課後子ども教室

現状と今後は。

答 和小つ子クラブ3回、上釜子ども教室3回、ブレイメン30回開催。

問 体験を通して生きる力を養う。手助けしたい市民も多い。拡充を。

答 拡充したい。

問 郷土史に詳しい方によるサン・ファン号の講座もい。

答 社会科副読本で学んでいる。

問 400年前も29年前の復元も石巻。郷土の誇り。本物による教育効果は高く、船体を残すべき

答 実物大をイメージできるよう、残せる物はできるだけ残し展示するよう県に強く要望した。郷土の歴史を学ぶためのサン・ファン号の在り方の意見を述べていく。

放課後児童クラブ

民間委託について伺う。

問 現在2クラブ。令和4年度8、令和5年度8、令和6年度9、令和7年度全て委託。

問 公募の時期と方法は。

答 10月頃、HPと市役所東口の掲示板で。

問 委託後の運営管理体制は。

答 市の責務。市と学校が入った運営委員会を組織。巡回指導員による指導助言や研修も実施。

問 巡回指導員とは。

答 昨年度まで教員経験者。募集中。



奥山 浩幸 議員

ニュー石巻



石巻市営住宅等の用途廃止に伴う入居者移転計画について

問 復興公営住宅では高齢化率が高くなっている。今後、子育て世代に目を向けた入居率の向上策が必要である。子育て世代向けのリノベーションや、経済的困窮の観点だけでなく、高齢化が進む団地のコミュニティミックスや、結婚から妊娠、出産、育児までの切れ目のない住宅支援といった観点で、政策的に収入要件の緩和など検討が必要ではないか。

答 コミュニティ維持の観点による子育て世代の入居要件の緩和を慎重に進めて行く。

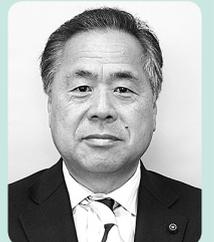
石巻市小・中学校学区再編計画について

問 人口減少が急激に進んでいる中、学区再編をコンスタントに進めていかなければいけない。学区再編は、一部の地区だけの問題でなく、市全体の問題であることから、合意形成に向け積極的に懇談会を開催すべきでないか。

答 保護者や地域の方々や統合を含めた学校の在り方について、各地区の実情を考慮しながら、協議を重ねていく。

問 学校は地域コミュニティの拠点であると同時に、震災後の少子化・人口減少が進む中で、集落を維持する役割を担っている。適切な教育環境を整えるため、学校が地域で果たしてきた役割や、地域の方々が学校に寄せる思い、また、災害時の対応など総合的な検討が必要と考えるが。

答 地域とより関係性を強化し、統合に向け進める。



阿部 正敏 議員

創生会



石巻鮎川線路線バスの昨年の利用者数は何人か。

問 昨年の利用者数は1万8983人。年々、利用者数は減少傾向にある。

問 1日の便数は何便か。また、鮎川から石巻駅に行く便は何便か。

答 1日の便数は、鮎川港から石巻駅までが3便、渡波イオンスーパーセンターまでが3便、往路石巻駅から鮎川港に向かう便が3便、渡波イオンセンターから鮎川港に向かう便が3便、合計1日12便。

問 利用者数を増やす方法として、新しくできた渡波から稲井に抜けるトンネルを利用して鮎川港から石巻赤十字病院を周り、石巻駅前までの運行にしているか。

答 住民からのアンケート調査や運行会社との協議を通じ、ニーズがあれば可能かもしれない。

問 昨年1年間の当該路線の運航費は、いくらになっているか。

答 年間運航費用が4877万9131円となっており、運賃収入8339万9千円で残りの8割以上の4千万円を税金で賄っている。

問 免許証を返納したい方が多くいるにもかかわらず、バス利用者が少ない状況について、根本的に改善する時期に来ているのではないか。

答 他の地域でも同様に、車社会から抜け出し切れていないことが、原因であるのではないか。



黒須 光男
議員

無会派



湊東地区復興住宅建設の問題について

問 この事業の4億8千万円は架空工事であると推認されるので国の制度にあるとおりの問題化したときは業者の負担で「破壊検査」を行うことができるとあり実際工事をしたと証明するため破壊検査をするよう仙台高裁に訴える。市長の考えを伺う。

答 控訴された案件に、当局が述べることはない。

公職選挙法の厳守について

問 平成30年施行の市議選ポスター作成で、すし屋を印刷業者としているが条例、選挙公営の手引でポスター作成は印刷業を営む者と規定していることから違法ではないか。

答 予備審査でポスターの体裁内容を確認し、業とすると判断した。

オリーブ事業について

問 試験栽培で生産量が少なく今年度の売上は75万6千円であるため今議会予算に920万円計上して助成金を交付することは問題である。3月12日NHKのプラタモリで、120年前明治政府がギリシャから苗木を取り寄せ3力所で試験栽培したがギリシャと同じ温暖な気候と火山で発生した火山岩の真砂がある小豆島でしか育たなかったことから石巻地方は適地でないので事業を終了すべきである。

答 貸付樹が10年木になるまで補助する。

財政運営の現状と課題について

問 財政が破綻しないよう副市長は1人、議員定数を大幅に削減すべきである。

答 市税、地方交付税が減少するので財源の創出と経費の節減を図る。



青山 久栄
議員

創生会



本市の消防団員数は震災後減り続けている。一方、各地で台風や、集中豪雨も相次いでおり、巨大地震も想定される。幅広い住民の入団促進策を伺う。

問

答 現在の団員数は条例定数1851名に対して、1643名であり、208名不足している。さらに毎年平均にして、25名ほど減少傾向にある。団員の入団促進策としては、来年度に報酬などの改定や道路交通法の改正により、消防団車輛を運転することができない団員に対し、資格取得費用の一部を補助する。

問 消防団の活動の中で、操法大会の訓練が過度に実施されており、団員の負担となっているとの指摘もある。見直しの考えがないか伺う。

答 操法大会については、その訓練などが消防団員の負担を増す要因ともなっているため、消防団と協議し検討する。

問 高齢者人口は増えるばかりだが、これから何もしなければ、ほとんどの人で介護が必要な状態になる。集会所などを利用した介護予防の取り組みがなされているが、参加者が少ない。介護予防にはストレスをためないため、自由な外出を促すことも大切である。

答 公共施設での利用料の減額補助や、民間の協力店の登録があれば、市報などで周知を行うことで、割引が受けられるようにすべきではないか。

問 令和4年度の早期に実施したい。高齢者が笑顔でいられるように、一つ一つ積み上げていく。



高橋 憲悦
議員

ニュー石巻



少子化・高齢化社会への対応と行財政運営の見直しについて

問 「子供叱るな来た道じゃ。年寄笑うな行く道じゃ」の言葉に想いを寄せて。令和3年の年間出生者数が716人である現状をどのように捉え、その対策について。子供に関する担当が、健康部、福祉部、教育委員会と分かれているが、3部門を統一して専門ポストを設けてはどうか。

答 高齢者が生き生きと暮らせる施策について。大震災前の財政規模に戻りつつあるが、多岐にわたる市民ニーズの対応は。

問 子育て世代に魅力あるまちづくりの実現を目指す、市内の横断的な対応を図り、持続可能な財政基盤の確立を進める。

自治体の地域間競争の中、本市が輝き続けるための考え方や方策について

問 「子供叱るな来た道じゃ。」の言葉の続きの言葉「来た道、行く道、二人旅。これから通る今日の道。通り直しのできる道」に想いを寄せて。移住・定住の促進策について。市民満足度を高める施策と地域自治振興策について。住民の足となる地域間交通の充実策について。市長に就任して約1年が過ぎようとしているが、その所見について。

答 本市の魅力と暮らしやすさをPRし、移住者との対話の機会を設け、問題点などのケアに務める。各施策を促進することにより、誇れる石巻となるようオール市民で取り組むたい。



阿部 久一 議員

ニュー石巻



第2次石巻市総合計画実施計画について

問 実施計画書に年度別活動指標や成果指標が示されていないが、活動指標や成果は行政評価を行うプロセス管理として、示すべきである。

答 総合計画と連動する形に見直しを行ったが、ご指摘の点も含め、さまざまなご意見を参考としながら、より分かりやすい実施計画の策定に向けて研究していく。

問 地域づくり支援事業で、住民自治組織づくりが遅れている。早急に推進すべきである。

答 今後は、地域をよく知っている総合支所の役割が重要なので、積極的な関わりを持ちながら対応していきたい。

問 地域づくり基金事業は、各総合支所を通じて、各地域に周知利用させるべきである。

答 地域への周知は行っていないが、今後、各総合支所とも相談して、各種会議の場において周知を図るなど、より市民や団体へ情報が伝わるように努める。

問 マイクロツーリズムの取り組みについて。

答 地元や近隣市町への短距離観光として、サン・フアン館や南浜津波復興祈念公園、石ノ森萬画館、いしのまき元氣いちばを巡るモニターツアー等を実施しているが、さらなる観光コースの造成に取り組み。

動く市長室について

問 各地区を回つての齋藤市長の見解を伺う。

答 自分たちの住むまちをより良いまちにしたいとの熱い思いに、しっかりと応えていきたいという使命感を改めて強く持つ。



西條 正昭 議員

創生会



石巻圏定住自立圏構想の実現について

問 三大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への流れを創出する政策であるが、「中心市」には8500万円、「近隣市町」には1800万円の特別交付税が措置される。本市でも早急に手続きすべきだが伺う。

答 以前作成した最終案を参考に圏域住民の意見などを伺いながら、本年10月の策定に向け、鋭意取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症濃厚接触者世帯の支援策について

問 陽性者には、宮城県が食料など生活必需品として10日分を提供しているが、濃厚接触者には何もない。本市が支援すべきであるが伺う。

答 遅ればせながら、支援するよう進める。

犯罪被害者等支援について

問 宮城県犯罪被害者支援条例が制定され、県内市町村でも被害者個人の尊厳と経済支援の条例制定の動きがあるが、本市の考えを伺う。

答 今後、先進自治体の制度を調査研究していく。また、被害を受け、転職や転居せざるを得ないケースなど事案が複雑化しており、警察など関係機関と連携を強化し、被害者の安全確保や心のケアを含めた総合的な相談支援に努めていく。

北上地区の復興事業完遂について

問 令和4年3月末までに全ての国・県および、市の事業（特に本地橋・丸山橋・吉浜橋）は完遂されるのか伺う。

答 関係機関と連絡調整を密にし、北上地区の復興事業の早期完遂に向け、取り組んでいく。



後藤 兼位 議員

創生会



復旧・復興加速の課題と行財政運営

ワクチン接種について

問 5歳から11歳の小児接種について。

答 ワクチン接種には、メリットとデメリットがあるので、保護者は、公的機関が発信している正確な情報を基に、主治医によく相談の上、接種するか判断してもらいたい。

問 3回目のワクチン接種については、不安を感じている市民が多い、積極的に情報を発信すべきだ。

答 ワクチンの安全性・有効性および副反応などに關する情報を正確に伝えるように努めており、市報、ホームページなどで周知を図っている。より多くの方に伝わるよう、情報発信の方法を工夫し、不安の解消を図り、接種率の向上に努める。

新市街地の借地料の軽減措置について

問 復興戸建て住宅用地（のぞみ野、あゆみ野、あけぼの北、さくら町）の借地料は、平成27年以降契約後10年間60坪まで無償とする減免措置がある。しかし、契約後11年以降は減免が終了する。75坪のケースだと年額2万7600円が、11年以降14万6400円に値上げされ、借地料が約5.3倍に激増する。契約から10年を経過したのちの借地料に不安を抱いている方々が多い。激変緩和措置を図るべきだ。

答 11年目以降の軽減化措置が必要で、延長を考えるとなければならない。コロナ感染拡大により家庭・地域経済がかなり厳しくなっていることを踏まえ、市民の安全安心を確保する施策を考えていく。



森山 行輝 議員

ニュー石巻



私たちの市が輝き魅力ある「まち」であり続ける為に

文化を育む市づくりについて

問 日本の大遺跡「沼津貝塚」について、当局の認識と対応を伺う。また、東北大学にある沼津貝塚からの出土品であり、国の重要文化財の骨角器等473点を借用して展示会を開催すべきと考える。当局の考え方について伺う。

答 国指定史跡である沼津貝塚は、毛利総七郎、遠藤源七両氏による明治42年の発掘調査をはじめりとして、数々の調査が行われ、昭和47年に国の史跡に指定された。我が国の考古学史上、その重要性は広く理解されている。「史跡の活用」という段階に進めるためにも、国、県との率直な意見交換が必要。出土品の展示会については、企画展などを検討し開催したい。

問 毛利コレクションについて、震災により中断していた個々の精査の進捗状況を伺う。また、10万点を超える当該コレクションの単独公開の考え方、さらに国内のみならず、アメリカの Smithsonian 博物館等との展示会の企画についての考え方、当市への貢献が大である毛利家への顕彰も必要と思いがいがか。

答 コレクションの精査は、令和5年をめどに進める。海外の博物館・美術館との連携や国立アイヌ民族博物館も含め可能性を探る。毛利家は、沼津貝塚の発掘や、コレクションの市への移管など、大変功績が大きい。市の対応方について検討する。

第1回定例会で起立採決のあった議案（下表は各議員の賛否）

	議案番号	件名
ア	第1号議案	専決処分報告並びにその承認を求めることについて(令和3年度石巻市一般会計補正予算(専決第3号))
イ	第45号議案	工事請負契約の一部変更について(石巻工業港運河線道路新設及び橋梁上部工新設工事) } 一括審議
	第46号議案	
ウ	第51号議案	工事請負契約の一部変更について(下釜南部地区土地区画整理事業宅地造成道路築造(その4)工事)
エ	第71号議案	副市長を選任するにつき同意を求めることについて

議席番号	氏名	ア	イ	ウ	エ
1	阿部 浩章	○	○	○	○
2	佐藤 雄一	○	○	○	○
3	高橋 憲悦	○	○	○	○
5	大森 秀一	-	-	-	-
6	黒須 光男	×	×	×	×
7	楯石 光弘	○	○	○	○
8	奥山 浩幸	○	○	○	○
9	遠藤 宏昭	○	○	○	○
10	木村 忠良	○	○	○	○
11	千葉 正幸	○	○	○	○
12	櫻田 誠子	○	○	○	○
13	鈴木 良広	○	○	○	○
14	青木 まりえ	○	○	○	○
15	星 雅俊	○	○	○	○
16	青山 久栄	○	○	○	○
17	阿部 正敏	○	○	○	○
18	齋藤 澄子	○	○	○	○
19	阿部 久一	○	○	○	○
20	丹野 清	○	○	○	○
21	安倍 太郎	○	○	○	○
22	阿部 欽一郎	○	○	○	○
23	森山 行輝	○	○	○	○
24	渡辺 拓朗	○	○	○	○
25	千葉 眞良	○	○	○	○
26	山口 莊一郎	○	○	○	○
27	高橋 栄一	○	○	○	○
28	西條 正昭	○	○	○	○
29	後藤 兼位	○	○	○	○
30	水澤 富士江	○	○	○	○
	賛成	27	27	27	27
	反対	1	1	1	1

人事案件

副市長を選任することに同意を求めることについて

本年3月末で退任した菅原秀幸副市長の後任の人選について、慎重に選考した結果、行政経験が豊かで、人格が高潔で識見も高く、地方自治に熱意を有する渡邊伸彦総務部長を新たに選任し、また、1日でも早く復興事業を完結させ、低迷する地域経済の活性化や地方創生事業の推進などさまざまな行政課題に、よりスピーディーに対応するためには、副市長2名による体制強化が必要であると判断し、その人選について慎重に選考した結果、元北陸財務局長で、国の公共事業予算や地域経済に精通し、人格が高潔で識見も高く、地方自治に熱意を有する工藤均氏を適任者と認め、選任されました。



わたなべのぶひこ ▲渡邊伸彦 副市長



くどう ひとし ▲工藤 均 副市長

※○：賛成 ×：反対
 ※大森秀一議長は採決に加わりません。
 ※エは渡邊副市長の選任同意のみ起立採決を行い、工藤副市長は全会一致で選任されました。

第1回定例会で
起立採決のあった議案
(下表は各議員の賛否)

	議案 番号	件名
ア	議会議案 第1号	ロシアによるウクライナへの 軍事侵攻に強く抗議する 決議
イ	議会議案 第2号	6番黒須光男議員に対する 議員辞職勧告決議の提出に ついて

議席 番号	氏名	ア	イ
1	阿部 浩章	○	○
2	佐藤 雄一	○	○
3	高橋 憲悦	○	○
5	大森 秀一	-	-
6	黒須 光男	×	退
7	楯石 光弘	○	○
8	奥山 浩幸	○	○
9	遠藤 宏昭	○	○
10	木村 忠良	○	○
11	千葉 正幸	○	○
12	櫻田 誠子	○	○
13	鈴木 良広	○	○
14	青木 まりえ	○	○
15	星 雅俊	○	○
16	青山 久栄	○	○
17	阿部 正敏	○	○
18	齋藤 澄子	○	○
19	阿部 久一	○	○
20	丹野 清	○	○
21	安倍 太郎	○	○
22	阿部 欽一郎	○	○
23	森山 行輝	○	○
24	渡辺 拓朗	○	○
25	千葉 眞良	○	○
26	山口 荘一郎	欠	○
27	高橋 栄一	○	○
28	西條 正昭	○	○
29	後藤 兼位	○	○
30	水澤 富士江	○	○
賛成		26	27
反対		1	0

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席
 ※大森秀一議長は採決に加わりません。
 ※イの採決で黒須光男議員は当事者のため
 退席となり、採決に加わりません。

第1回定例会において可決された決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に強く抗議する決議

提出者：阿部欽一郎 議員

賛成者：千葉眞良 議員、渡辺拓朗 議員、水澤富士江 議員

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、国際社会への平和と安全を著しく損なう行為として、断じて容認することができない暴挙である。ましてや核兵器の使用を示唆し威嚇するなどは言語道断であり、唯一の被爆国である我が国としては絶対これを許すことはできない。

このような軍事力を背景とした一方的な現状変更への試みは、明白な国際法並びに国連憲章に違反した行為であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので、断じて看過できない。

ここに石巻市議会は、ロシアに対し一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議するものである。

また、日本政府においては、現地在留邦人の安全確保に万全を尽くすとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の完全撤退と速やかな平和の実現に全力を尽くすことを強く求める。

以上、決議する。

6番黒須光男議員に対する議員辞職勧告決議

提出者：山口荘一郎 議員

賛成者：26議員（大森秀一 議長、黒須光男 議員を除く）

黒須光男議員に対しては、これまでの議長からの再三の注意に対する反省が見られないどころか、議場外での高圧的な言動がエスカレートし、行政の適正な職務遂行を妨げるようになったことから、昨年12月議会でやむを得ず辞職勧告決議を提出し、議長を除く全議員の賛成により可決したばかりである。

石巻市議会は、市民と協働し、真の地方自治を先導する議会を目指し、石巻市議会議員政治倫理条例を制定しているが、その中で定める「議員は自ら研さんを積み、資質を高めるとともに、市民の信頼に値する倫理性を自覚し、その品位の保持に努めなければならない。」という議員の責務を歪め、「議員は、その地位を利用して嫌がらせをし、強制し、又は圧力をかける行為、その他の人権侵害のおそれのある行為をしてはならない。」という政治倫理基準に反する言動は決して許されるものではない。

市民からの負託を受けた重みを最も知っている我々議員自身が、議員辞職勧告決議を下さなければならなかった苦悩を理解するどころか、今定例会では副議長からの注意を受け留める素振りも見せず、「こんなことにもめげずに」と反発した姿勢には救いの余地もない。12月の辞職勧告の反省も無く、その後も市役所内の目的以外に使用できない場所で、無断で秩序を乱すような文書を各保育所宛に投函したとして、去る2月24日に議長より迷惑行為の嚴重注意を受けたばかりにもかかわらずである。本来、行政を倫理観高く監視すべき役割を担うはずの議員が、自己都合を優先して自ら規律等を無視することがあってはならない。

また、石巻市議会会議規則で一般質問は「市の一般事務について、議長の許可を得て質問することができる。」と規定されているにもかかわらず、今定例会では黒須光男議員自身が訴訟を起こされた個人的な民事裁判の内容に関する自己弁護に終始する場面があったが、公の議場の中で貴重な時間と税金を使って私事に質問時間を使うことは、議員としてあるまじき行為であり、議員として負託された市民の思いを踏みにじる行為と言っても過言ではない。

このところの黒須光男議員の一般質問は自身の起こした、もしくは起こそうとしている訴訟案件ばかりであり、自己の訴訟に利用する意図で議場の発言や議会だよりの持つ公共性を使うことは厳に慎まなければならない。

よって、議員辞職勧告を決議した昨年12月時点での状況をこれ以上さらに悪化させることは市民の不利益に繋がることから、6番黒須光男議員に対し、速やかに議員を辞職するよう重ねて勧告するものである。

以上、決議する。

議員研修会 「SNSを議会運営に活かす」

1月31日、市防災センターで、元東京都国分寺市副市長である日本経営協会の樋口満雄氏を講師に招き、議会力の強化、議員の資質向上を目指し、議員研修会「SNSを議会運営に活かす」をオンラインで開催しました。

令和4年度から全議員に一人1台のタブレット端末を貸与する予定であることから、議員活動におけるSNSの活用による利便性や危険性の事例が紹介され、議員として政治倫理意識を高め、各種法令や行動規律を守ることの重要性を学びました。



議会の動き

＜1月＞

- 11日 秋田県北秋田市議会行政視察来石
- 12日 愛媛県伊予市議会行政視察来石
- 14日 全国市議会議長会視察来石
- 17日 仙台市議会行政視察来石
- 31日 東日本大震災地域コミュニティ活性化特別委員会
石巻市議会議員研修会
議会改革推進会議

＜2月＞

- 4日 議会運営委員会
- 9日 本会議（開会、施政方針演説）
全員協議会
- 16日 総合防災対策特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 本会議（施政方針に対する質疑）
東日本大震災地域コミュニティ活性化
特別委員会
- 21日 本会議（施政方針に対する質疑）
- 22日 本会議（条例案等審議）
- 24日 本会議（当初予算案審議（令和4年度予算））
- 25日 本会議（追加議案審議（令和3年度補正予算等））

＜3月＞

- 1日 総務企画委員会
- 2日 環境教育委員会
- 3日 保健福祉委員会
- 4日 産業建設委員会
- 7日 議会運営委員会
石巻市陸上競技場の整備を推進する
議員連盟役員会
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
総合防災対策特別委員会
人口減少対策特別委員会
- 11日 東日本大震災追悼式
- 14日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問、委員長報告、
追加議案審議、閉会）



本会議・常任委員会を動画で配信しています。

視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。
(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)



また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問を動画(録画映像)で見ることができます。
(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

次回 令和4年6月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16 本会議 開会 13:00	17 本会議 議案審議 10:00	18
19	20	21 総務企画 環境教育 10:00	22 保健福祉 産業建設 10:00	23	24	25
26	27 本会議 一般質問 10:00	28 本会議 一般質問 10:00	29 本会議 一般質問 10:00	30 本会議 一般質問 10:00	7/1 本会議 一般質問 10:00 閉会	

カレンダーの時間は、開会時間となっております。※時間・日程は変更となる場合があります。

議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録としては、市ホームページや図書館、議会図書室で会議録をご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

■第4回定例会ライブ中継の視聴回数 3,667回 (令和4年2月9日～3月16日)
■YouTube録画中継の視聴回数 4,072回 (令和4年1月～3月末)



編集後記

コロナ禍におきまして、市民の皆様も公私にわたり新しい生活様式に向けてご苦労を強いられていることとご推察致します。

さて、令和4年第1回定例会が2月9日開会し、齋藤市長から施政方針、初めての当初予算案等が提出されました。予算編成に当たっては「持続可能な財政基盤の確立」を図ることを基本方針とするものでした。

これに対し、各党派代表質疑、一般質問等で多くの議員が登壇し、市政全般にわたって齋藤市長はじめ幹部との間で熱い議論を交わしました。さらに、震災から11年が経過し復興完結と新型コロナウイルス対策等、市政全般にわたって市民の視点に立ち、各議員が多角的に提言しました。

市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのため、我々議員29人は市民の皆さんと共にその問題解決のため努力してまいります。

広報広聴委員会 委員 後藤 兼位

DATA 市総人口：137,868人【男：66,982人 / 女：70,886人 / 世帯数：61,964世帯(令和4年3月末日現在)】